



襷（たすき）をつなぐ

国分北小学校 川野 浩明

新年あけましておめでとうございます。

皆さまにとって、本年が実り多き一年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。さて、日本のお正月には多くの伝統行事がありますが、その中でも「箱根駅伝」は毎年多くの人々に感動と希望を届ける恒例行事です。この駅伝競技は、一人一人の選手がたすきをつなぎながら目標に向かって進む姿が印象的であり、多くの教訓を私たちに示してくれます。**この”たすき”という存在は、単なる布ではなく、選手たちがもつ思いや責任、そして次へつなぐ意志の象徴でもあります。**

学校生活においても、この”たすき”と似た役割が存在しているように思います。**先輩から後輩へ、教師から子供へ、あるいは友達同士の間で、それぞれがもつ知識や経験、目標や夢を次世代へと受け渡すこと。**それは、教育という営みの根幹であり、私たちの学校が大切にしている理念でもあります。

3学期は、始業式でも子供たちに話をしましたが、**「仲間との絆」を大事にして取り組んでいきたい**と考えています。個々が互いに支え合いながら成長し、更なる高みを目指すために設定しました。**学校全体が一丸となり、仲間との絆を深めながら、これまでの積み重ねを次の学年や進学先へとつなげて、よりよい学校生活を送るようにしていきたい**と思います。

今年一年を通じて、保護者、地域の皆さまとともに力を合わせ、よりよい学校づくりを進めていけることを楽しみにしています。**一步一步確実に進みながら、次の世代に誇れる”たすき”をつなげていきましょう。**本年もどうぞよろしくお願いいたします。



【県下一周駅伝大会の始良チームの選手と6年生】